

# 【事例編】

【事例編】には、県内の小・中学校、それぞれ9校ずつ、計18校の家庭学習充実に向けた特色ある取組を掲載しています。



- 学校独自の「家庭学習スタンダード」を作成し、家庭学習の内容・方法の指導を具体的に行うとともに、学校・保護者の共通認識の下で生徒たちの自己マネジメント力育成に当たっている。
- 中学校区で情報を共有しながら、同一歩調でノートづくりの指導に当たっている。

## 🔑 家庭学習の内容・方法の指導

### Plan 「渡利中学校家庭学習スタンダード」の作成、共通理解

渡利中学校では、県教委発行の「家庭学習スタンダード」及び「家庭学習のスタンダード（福島市版）」を基に、家庭学習の手引き「渡利中学校家庭学習スタンダード」を作成している。

このスタンダードは、生徒用のみならず、保護者用、教師用も準備されており、全教員、保護者、中学校区で確認し合い、組織的に家庭学習の指導を行う中で、生徒が自らの学びをマネジメントする資質・能力を育成することを目指している。

6月には生徒用スタンダードを用いて学習集会を実施し、内容の徹底を図った。

#### 【スタンダードの内容】

- ・ 家庭学習の意義、内容
- ・ 具体的な自主学習ノートの活用法
- ・ 家庭学習の取り組みの例 など

## Check 家庭学習の「振り返り」

学級活動の時間に、お互いの自主学習ノートのよさや改善点等について話し合うなど、各自の家庭学習の状況を「振り返り」機会を設定している。

よさや改善点等は付箋紙に記入しながら交流していくが、ノートづくりについて、教科担任がコメントを寄せるなど、教科の学習（予習・復習等）を行う上で、教科の専門的な視点から具体的なアドバイスを送ることができるため、子どもたちにとって大変参考になっている。

また、自主学習ノートの紹介も行っており、全校生が目を通すことができるよう、昇降口にノートのコピーを掲示し、他学年のノートづくりに触れることができるようにしている。

特に、1年生にとっては、2・3年生のノートづくりがよい刺激となっており、その後のノートづくりに反映されるケースも見られる。



## 🔑 小中接続によるノート指導

### D。 「めあて」と「まとめ」の記入

渡利中学校区では、小学校でも家庭学習に力を入れており、特にノート指導を丁寧に行っている。

子どもたちは、小学校段階から、自主学習ノートに、その日の学習の「めあて」を記入し、学習をスタートさせる。そして、学習の最後に、学習の振り返りともなる「まとめ」を記入する習慣が身に付いている。

中学校においても、小学校でのノート指導を受け、同様の取組を継続している。

小中学校における協議会等においては、家庭学習に関する情報交換等も行っており、それぞれの学校（小学校2校、中学校1校）の児童生徒の自主学習ノートを持ち寄って見合う機会を設けるなど、小中の接続を意識した取組を行っている。

**渡利中学校家庭学習スタンダード**

**自分**

自分自身の強み (Strength)  
自分自身の得意科目 (Favorite subject)  
自分自身の得意分野 (Specialty)

**家庭**

・ 目標を定める  
・ 習慣を身につける

**学校**

・ 学習のペースを自分で調整する  
・ 学習の進捗を自分で確認する

**家庭学習を充実させて  
自己マネジメント力UP!**

**家庭学習を充実させ、学力をもっとのばそう!**

渡利中学校

**1 なぜ家庭学習が必要なの？**

中学校での学習は、社会人として自立するための基礎となる「学力」を育てます。学校では基礎学力を身に付け、高めることを重視して授業を行っています。さらに、皆さんが家庭学習に取り組むことで、その効果を明確に高めることができます。

「学力」とは、「もっと調べてみたい」「もし一だしたら、どうなるのだろうか」「なぜ-なのだろう」と、自分で意欲や疑問をもちながら、学習の知識を生かし、知識をもって考えたが、整理しやすくなることを指します。

家庭学習を毎日続けることで、「分かった」「できた」という体験が、学習が楽しくなります。そして、学習習慣が身につく学力の向上が期待できます。また、集中力やしっかりとした考え方が身につく、重要なことに出会って多く気づき、積極的にチャレンジしようとする力が育ちます。

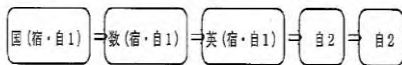
～学力をつけるには一定の制度～  
 ※授業以外に学習する時間です。学習が楽しくなる！  
 ※将来の選択（希望する高校や大学などの進学・やりたい仕事など）が広がる！  
 ※自分の考えが広がり、深まり、向上心をもって生きる（学び続ける）態度が身につく！

生徒のみならず一人ひとりが、中学校の学習内容をしっかりと身につけ、夢や希望の実現を目指しましょう！

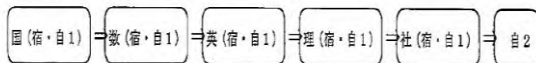
## 3 家庭学習の取り組みの例

[1・2年生] ※時間はあくまで目安です。 宿：宿題、自：自主学習

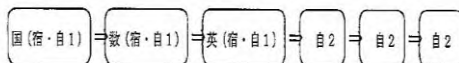
**パターンA** 20分×5セット=100分



**パターンB** 20分×6セット=120分



**パターンC** 20分×6セット=120分



# スケジュール手帳の有効活用による自己マネジメント力の育成

本宮市立白沢中学校

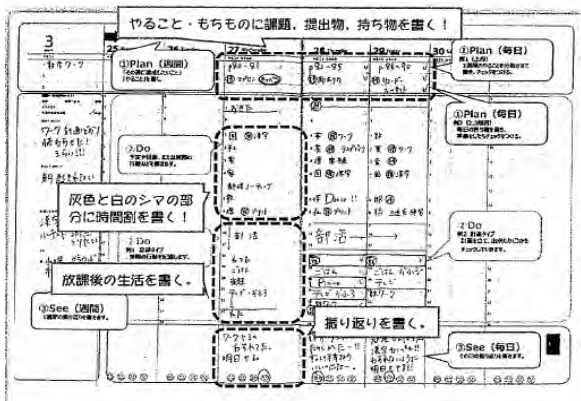
- スケジュール手帳を活用することをとおして、授業と家庭学習をつなぎ、学習習慣を確立させる取組を行っている。また、手帳活用の有用性を生徒や保護者に実感させながら、主体性を高めるための力を鍛える手段として手帳の活用を押し進めている。
- 県作成の「家庭での学習・生活チェックシート」を自校化し、「振り返り」を重視している。

## スケジュール手帳の活用による学習習慣サイクルの確立



### スケジュール手帳の活用

白沢中学校では、生徒たちにセルフマネジメント力（自己マネジメント力）を育成するため、昨年度より市販のスケジュール手帳を採用し、学校ではもちろんのこと、自宅でも活用することとしている。



### 《基本的な使い方》

☆ 朝の学活	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 手帳を開く。【まずは開く！】</li> <li>・ 起床時間をメモする。</li> <li>・ 1日の予定や計画を確認する。</li> <li>・ 1日の予定や計画を書く。</li> </ul>
☆ 授業	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ すぐ出せるようにしておく。</li> <li>・ 移動教室に持っていく。</li> <li>・ やること、その週に達成したいことなどをメモする。</li> </ul>
☆ 帰りの学活	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 手帳を開く。【まずは開く！】</li> <li>・ 計画が実行できたかをチェックする。</li> <li>・ 翌日の予定、計画、持ち物を書き込む。</li> <li>・ 1日の振り返りを書く。</li> </ul>
☆ 自宅	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 手帳を開く【まずは開く！】</li> <li>・ 計画が実行できたかをチェックする。</li> <li>・ 1日の実際の行動を記録する。【とにかく記録！】</li> <li>・ 1日の振り返りを書く。</li> <li>・ 頭マークに○をつける。</li> <li>・ 翌日の予定、持ち物を確認する。【チェックも！】</li> <li>・ 就寝時間をメモする。</li> </ul>

手帳は、基本的に生徒が一日中持ち歩いており、授業の際にも、宿題や提出物、持参物等をその場でメモするように指導している。（授業と家庭学習をつなぐという意識）

先生方は、週に1回程度タイミングを見計らって活用状況をチェックし、効果的な活用について助言を行っている。

### 【白沢中における手帳活用における主な効果】

- 主体性・能動性が大きく向上し、自ら学習する姿勢が身に付いている。
- 学習習慣が身に付き、生徒の学習時間が大きく増えている。
- 時間を大切にしようとする意識が大きく向上している。
- 先のことを見通して行動しようとする意識が大きく向上し、計画力が高まっている。
- 振り返りの繰り返しによって多くの生徒が成長実感を抱き、自己肯定感が高まっている。

### 《その他、手帳の活用に関しての取組》

- ① オリエンテーションの実施
  - ・ 全校集会時に研修主任から説明
- ② 学習委員会による「校内手帳コンテスト」の実施
  - ・ 「ステキな表紙の部」
  - ・ 「ちょっといいページの部」
- ③ 手帳活用についての保護者への説明
  - ・ PTA全体会、学校通信等
- ④ 年度末（3月）からの活用
  - ・ 春休みの有効活用を視野に

## 「家庭での学習・生活チェックシート」の自校化

評価項目	自己評価					○自分がよくできているところ ●改善が必要どころ
	5	4	3	2	1	
4 学習内容	① 苦手な教科も学習している。	1				
	② 難しい問題や課題にも、がんばって取り組んでいる。	2				
	③ 授業の予習や復習をしたり、テストの見直しをしたりしている。	1				
6 学習方法	④ 「調べ」「まとめる」「練習する」など、多様な学習方法の中から自分の課題に合った方法を選んで、取り組んでいる。	1				
	⑤ いろいろな種類の本を読むようにしている。	2				
	⑥ 自主学習に、積極的に取り組んでいる。	1				
6 授業	⑦ テストや定期考査の前には、計画を立てて学習に取り組んでいる。	1				
	⑧ ページ数や問題の数、時間、点数など、やりとげの目標を決めて学習している。	2				
	⑨ 見直しや答え合わせ、間違っただけを直し、学習の振り返りを行っている。	1				
6 授業	⑩ 分からないことはそのまませず、調べたり聞いたりしている。	1				
	⑪ テスト計画表やフォーサイトを活用して、見直しをもって学習に取り組んでいる。	2				
	⑫ 「今日の授業で何を学習するか」を明確にして、授業に臨んでいる。	1				
6 授業	⑬ 話し合い活動に積極的に参加し、自分の意見をきくと周りに伝えることができる。	1				
	⑭ 友だちの思いや考えを聞いて、自分の考えを深めることができる。	2				
	⑮ 授業の中で学習したことを振り返るようにしている。	1				
6 授業	⑯ 授業の中で出てきた疑問について、後から調べたり、誰かに聞いたりして、解決するようにしている。	1				
		2				
		3				

県で作成している「家庭での学習・生活チェックシート」を自校化し、「振り返り」の充実に役立てている。自校化にあたっては、スケジュール手帳の活用、授業との関連等を重視し、項目を追加して活用している。

# PU（パワーアップ）ノートを活用した自己マネジメント力の育成

玉川村立泉中学校

- 自主学習を「PU（パワーアップ）ノート」として授業の復習や自分の課題の克服のために活用している。担任や学年主任が毎日確認し、コメントをつけて称賛することで生徒の自己マネジメント力を育成している。
- 委員会活動と連携し、学年をまたいで見せ合って生徒同士がコメントしたり、内容がよいものを掲示して意欲を高めたりするなど、生徒の自主性を重んじた取組をしている。

## PUノートの活用による学習習慣の確立

【生徒のPUノート】



### PUノートの活用

泉中学校では、毎日の授業の復習や自分の課題の克服のために「PUノート」で家庭学習を進めている。

PUノートは担任または学年主任が毎日確認し、できる限りコメントをつけている。

定期テスト前には、教科担任からも協力を得て、取組の内容や方法についてのアドバイスももらっている。複数の目で、教科の専門的な視点で生徒たちの学力向上に向けて支援している。



### PUノートの相互評価（見せ合い）

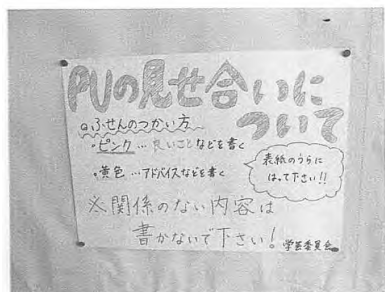
委員会活動と連携し、生徒も運営に関わりながら、学年の枠を超えてPUノートの見せ合いの場を確保している。アドバイスや感想などを記入した付箋紙を生徒同士で交換し合い、家庭学習の改善につなげている。

短学活時にもPUノートの活用の仕方について指導している。

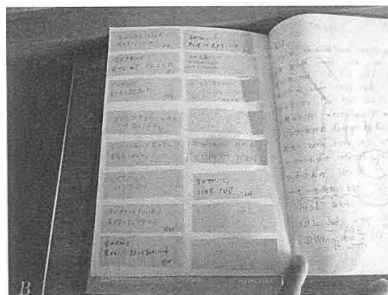
#### 第1回 PUの相互評価計画（PUの見せ合い）について

学芸委員会

- ねらい
  - 生徒間の自主学習ノートの見せ合いによる、励ましや助言などの相互評価を通して、よりよい家庭学習の習慣を身に付けさせる。
  - 実力テストに向けて、家庭学習の内容の充実を図ると共に、学習方法の工夫・改善のよい機会とする。
- 期間
  - 5月13日（月）、14日（火）、15日（水）、16日（木）、17日（金）の5日間
- 方法
  - 学年の枠を超え、PUノートを相互に評価しあう
  - 朝の短学活前から掃除終了後まで、他の学級の教室後ろのロッカー上に展示し、各自で休み時間に見る。
  - アドバイスや感想などのコメントを、付箋紙に書いて、見た生徒のノートに貼り付ける。  
※ 付箋には必ず記入者の氏名を書く。
  - 学芸委員会の生徒が提出されたノートを確認し、名簿にチェックする。
  - 付箋には、PUノートの改善につながるアドバイスを記入する。



【学芸委員会の広報】



【付箋紙が貼られたPUノート】



【PUノートを見合う生徒】

### 《その他、家庭学習に関しての取組》

- 授業と家庭学習とのつながり
  - ・ 授業の中で、家庭学習において取り組んでほしい内容を提示。ショートテスト等で定着の結果を確認し、家庭学習の量や方法について改善を図っている。
  - ・ 授業の中に「振り返り」の時間を設け、まとめ方についての指導を行っている。
- 自己マネジメント力の育成
  - ・ 自分ログ（生活ノート）を活用し、自分の生活スタイルを振り返る場を確保している。
  - ・ 定期テストの前には、学習計画の立案、実施状況のチェックについて、本人だけでなく、学校や家庭からの協力を得て実施している。

# 生徒の自立を促す学習支援と生徒の頑張りに寄り添う指導

三春町立岩江中学校

- 生徒の「自立」をテーマに、自主的に家庭学習に取り組めるよう、教科相談を実施したり、教科教室のメリットを生かし、家庭学習に役立つ教科掲示を準備したりしている。
- ノートチェックをする際、生徒の努力を認め、励ますことを基本とするなど、生徒の頑張りに寄り添う指導体制が構築されている。

## 生徒の自立を促すための支援

### Plan 「家庭学習掲示板」の活用

学級	101	102	201	202	301	302
国語	○	○	○	○	○	○
数学	○	○	○	○	○	○
英語	○	○	○	○	○	○
理科	○	○	○	○	○	○

各学級の宿題が校舎1階のホールに掲示（見える可）されており、生徒たちがその日の宿題を把握できるようにしている。また、教師も他教科の宿題を把握でき、生徒の負担を考慮して宿題量の調整等を行っている。

### Plan 「家庭学習の計画」

家庭学習の計画 実施するものに○をつけよう。 6月

日(曜)	宿題	自主学习	時間	担当	備考
1日(○)	国・数・英・理・社・( )	国・数・英・理・社・( )	20:00	○	印
2日(○)	国・数・英・理・社・( )	国・数・英・理・社・( )	20:00	○	印
3日(○)	国・数・英・理・社・( )	国・数・英・理・社・( )	20:00	○	印
4日(○)	国・数・英・理・社・( )	国・数・英・理・社・( )	20:00	○	印
5日(○)	国・数・英・理・社・( )	国・数・英・理・社・( )	20:00	○	印
6日(○)	国・数・英・理・社・( )	国・数・英・理・社・( )	20:00	○	印
7日(○)	国・数・英・理・社・( )	国・数・英・理・社・( )	20:00	○	印

「家庭学習の手引き」と一体型の計画表。帰りの短学活時に学習の計画を立て、担任の先生のチェックを受けて帰る。帰宅後はやるべきことが明確になっているので迷わず学習に取り組むことができる。

また、保護者の協力も得ており、保護者が子どもの学習状況を確認している。（保護者の確認欄への押印等）

### Research Plan 学習相談の充実（教科相談）

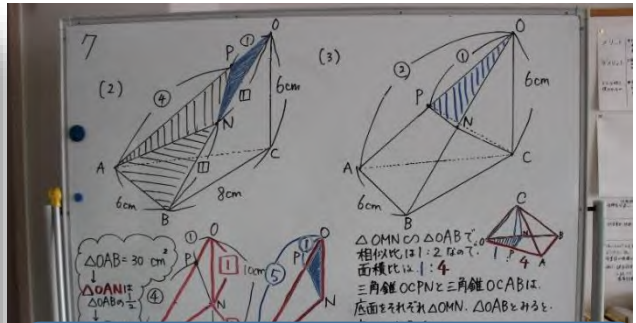
1学期にアンケートをとり、希望する教科、希望する先生に教科の学習に関する相談ができる機会を設けている。（昼休みや放課後の時間を利用）

ほとんどの生徒が「勉強の仕方」について相談し、その後の家庭学習に役立っている。

また、この教科相談が先生方に気軽に質問できるようきっかけづくりとなっており、学習に対する主体的な態度を育成する上でもよい機会となっている。

## Check Action

### 教科教室型を生かした特色ある取組



岩江中学校では、「教科教室型」の授業を展開しており、各教室において、教科の学習に関する掲示物等が充実している。この掲示物等をおして、学習を振り返ったり、家庭学習の参考にしたたりする生徒が見られるなど、生徒の学習の深まりや自己マネジメント力の育成に役立っている。

## Check Research 生徒一人一人に寄り添う教師集団

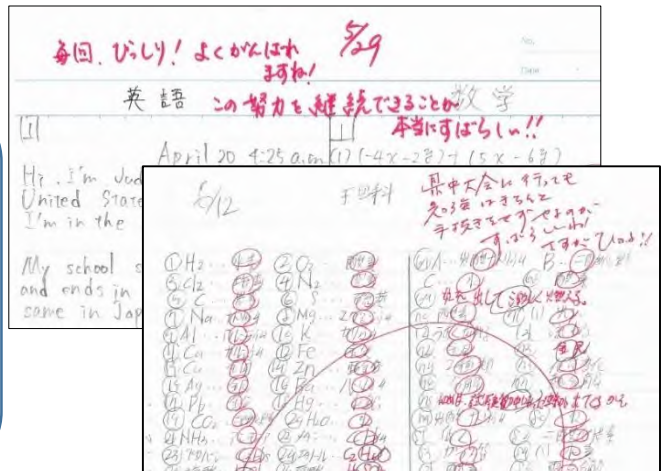
### Check Research 子どもの努力を認め、励ますチェック

学級担任だけでなく、全職員で「家庭学習の実践のポイント」について共通理解を図っている。その中で、子どもの努力を認め、励ますチェックの在り方について共通理解・共通実践をしていることが素晴らしい。

(5) 提出させた後のことも考える。

→ 子どもの努力を認め、励ますようなチェックの仕方の工夫（可能な範囲で）

- ・ 採点が必要なものは、全員の提出物の採点
- ・ 間違っているところのチェック・添削等
- ・ 全員の宿題に目を通し、ほめる言葉・励ます言葉等、コメントの記入
- ・ よくできたところの賞賛、間違ったところは、分かるまで指導
- ・ よかった内容、特徴的なこと、優れた発想などについての紹介
- ・ 間違いが多かった問題を授業で取り上げるなど、宿題を「次の授業に生かす」こと



# 効率的な学習計画により家庭学習の質を高める指導

白河市立表郷中学校

- 家庭学習に取り組んだ実際の時間と自己評価を基に、2週間分の学習計画表をその都度修正する場を設定することで、生徒が効率的な学習計画を立てる能力を高めることにつながっている。
- 自主学習ノート評価会や自主学習ノートコーナーでの掲示により、自己の家庭学習を振り返る視点を学ぶことができるため家庭学習の質が高まっている。

## 自己マネジメント力の育成



### アップデートし続ける学習計画表

月日	曜	学習予定時間	実際の時間	教科	内容	教科	内容	担任印	自己評価
5/8	水	18:00~20:00	14:10~20:30	英語	過去形用法の	英語	7-7 過去形		A B C
5/9	木	18:00~20:00	21:00~22:00	数学	式の計算(1)	数学	7-10 図(1)まで		A B C
5/10	金	18:00~20:00	18:00~	理科	物質の成り立ち	理科	7-7 物質の成り立ち		A B C
5/11	土	18:00~20:00	18:00~	社会	多国籍時代(1)	社会	7-7 多国籍		A B C
5/12	日	18:00~20:00	18:30~19:30	英語	未来形用法の	英語	7-7 未来形		A B C
5/13	月	20:00~21:00	21:00~22:00	英語	過去形用法の	英語	過去形(1)まで		A B C
5/14	火	18:00~20:00	21:10~22:10	数学	7-10 図(1)まで	数学	7-10 図(1)まで		A B C
5/15	水	18:00~20:00	18:00~	英語	未来形用法の	英語	7-7 未来形		A B C
5/16	木	18:00~20:00	21:30~22:30	社会	多国籍時代(1)	社会	7-7 多国籍		A B C
5/17	金	18:00~20:00	18:00~	数学	7-10 図(1)まで	数学	7-10 図(1)まで		A B C
5/18	土	18:00~20:00	18:00~	国語	7-7 全て	国語	7-7 全て		A B C

## 家庭学習の質を高める指導



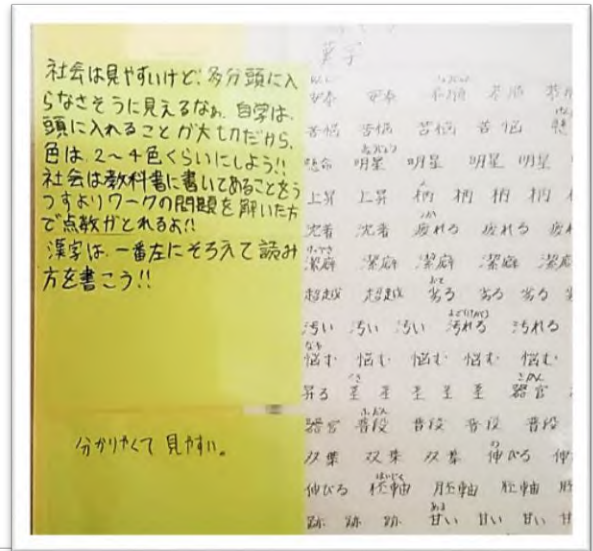
### 全生徒による自主学習ノート評価会

自主学習ノートを評価し合い、取り組み方やノートの使い方の改善を図ることを目的に実施している。3~4人のグループを作り、割り振られたノートを評価していく。ノートを見て感じたことや、アドバイスを付箋に書く。

<評価対象>

- ・3年生は、1年生のノート进行评估する。
  - ・2年生は、3年生のノート进行评估する。
  - ・1年生は、2年生のノート进行评估する。
- 他の人のノート进行评估することをとおして、自己の自主学習の取組を見直す視点を学ぶことができる。

毎日、一定時間、決まった場所で家庭学習を行う習慣を身に付けさせることを目的に、2週間分の学習計画表を作成し、計画を立てさせている。学習計画表には、毎日帰りの短学活の時間に「学習予定時間」「取り組む教科」を記入させ、家庭学習終了後に「実際に取り組んだ時間」と「自己評価」を記入させている。振り返りを基に計画を修正していくことで、自分に合った学習方法を見つけることができ、無理のない効率的な学習計画を立てることにつながっている。

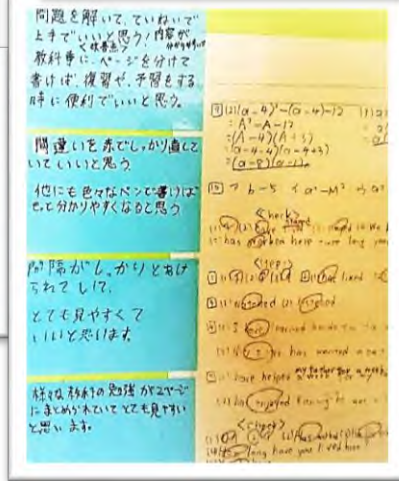


### 自主学習ノートの掲示



学年ごとに一人一人の自主学習ノートを掲示している。同学年の自主学習ノートを見ることができるだけでなく、異学年のノートを見ることができるため、自己の取組を見直すきっかけとなっている。

(写真) 上級生の経験を踏まえたアドバイスは、具体的であり、自主学習の質を高めることにつながっている。より効果的かつ効率的な家庭学習に取り組むためのきっかけとなっている。生徒からの「自主学習で何をすればよいか分からない」という声がなくなってきた。



# 短期間のR-PDCAサイクルで自己マネジメント力を高める指導

会津美里町立高田中学校

- R-PDCAサイクルを意識した家庭学習の取組を、定期テスト対策にも利用し、明確な目的をもたせて家庭学習に取り組ませている。短期間のR-PDCAサイクルを繰り返し、家庭学習の質を高めている。
- 自主学習ノートの累積や自主学習ノート展示会などで生徒の努力を可視化し、価値付けることで、生徒の自主性を育成し、継続して家庭学習に取り組むことができるようにしている。

## 短期間のR-PDCAサイクルの繰り返し

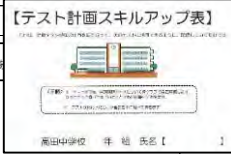
**Research Plan Do Check Action**

**第2学期期末テスト 学習計画表**

	1	2	3	4
25日(月)	音楽・保健	英語	美術	数学
26日(火)	技術・家庭	国語	理科	社会

☆充実度→A:計画以上にできた B:計画通りにできた C:計画通りにいかなかった

日	曜	行事	計画学習内容	習熟割合	実習割合	達成度	チェック
11	月	三者面談-19日					



定期テストに向けた勉強が、1回限りの単発とならないように、「R-PDCAサイクル」を定期テストの勉強に利用し、家庭学習の質を高めている。前回の反省点を踏まえ、定期テスト対策を計画させている。テストごとに3つの共通目標で振り返らせることで「R-PDCAサイクル」を生徒が意識して家庭学習に取り組むことができるようにしている。

## 自主性を高め継続させる取組

### 《進度別ステッカー》

「自主学習ノート」の表紙に、使い終わった自主学習ノートの冊数によって色分けしたステッカーを貼り、家庭学習の取組を可視化し、達成感をもたせて継続して学習に取り組む意欲を高めている。

2冊目…白、5冊目…赤、8冊目…青、11冊目…緑、15冊目…銅、19冊目…銀、20冊目…金

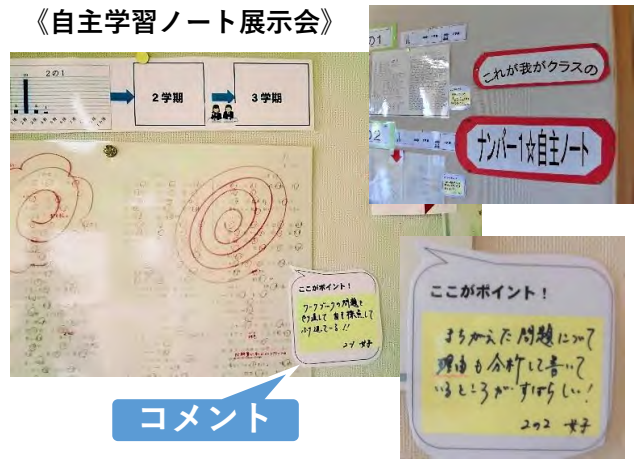
使い終わった自主学習ノートはクラス全体の冊数を学期ごとにグラフ化し冊数の伸びを可視化することで意欲をもたせる。(写真下)



### 《100日の努力達成賞》

100日続けることを目標とし、生徒に「ここまで頑張ってみよう！」と、ゴールを意識させている。学期ごとに「100の努力（始業式4/8~7/17で100日間）」を設定し努力達成賞を与えている。

### 《自主学習ノート展示会》



コメント

他の人のノート、他学年のノートを参考にして、自主学習の質の向上に生かすことを目的に「自主学習ノート展示会」を実施している。各学級から男女それぞれに、見本となるような「1ページ」を選抜し廊下に掲示する。生徒が参考にすることができるように、選抜理由も掲示している。

## 《自己評価表》

共通目標①	計画を立てて、それに沿って家庭学習をする。 (例えば・・・毎日の分以上やる)	1学期期末	20%	50%	70%	90%
共通目標②	課題を提出日に遅れずに出す。 (例えば・・・ワークを余裕時間をめやす)	1学期期末				
共通目標③	テレビ・ゲーム・スマホの誘惑に負けずに学習する。 (例えば・・・テスト勉強期間中は控える)	1学期期末	20%	50%	70%	90%

定期テスト終了後には、定期テストに向けた家庭学習の取組を振り返り自己評価する。全ての生徒が、共通目標で振り返るようにしている。学習計画表と自己評価表は、ポートフォリオ形式で累積することにより、家庭学習の質の向上を図っている。

#### 〔共通目標〕

- ① 計画を立てて、それに沿って家庭学習をする。
- ② 課題を提出日に遅れずに出す。
- ③ テレビ・ゲーム・スマホの誘惑に負けずに学習する。

# 「自己マネジメント力」の具体化と学校と家庭学習をつなぐ取組

南会津町立荒海中学校

- 生徒たちに「自己マネジメント力」とは何か具体化して提示することで、理解を伴った実践につながる工夫をしている。
- 月2回の「放課後学習会」をとおして、学校と家庭学習をつなぐ取組を展開している。

## 自己マネジメント力育成のために



### 新入生オリエンテーションでの学び方指導

新入生オリエンテーションにおいて、「家庭学習の意義とねらい」、「家庭学習で身につけてほしい力」、「家庭学習の時間のとり方と学習の目安」等について具体的に指導を行っている。

特に、「自己マネジメント力」について、以下のように具体化し、生徒たちが理解しやすいように工夫して提示している。

家庭学習を実践していくときにみなさんに身につけてほしい力として、「自己マネジメント力」があります。

「自己マネジメント力」とは、自分で学習や生活を改善する力のことです。

- |            |               |
|------------|---------------|
| ① Research | (リサーチ: 自分を知る) |
| ② Plan     | (プラン: 計画する)   |
| ③ Do       | (ドゥ: 自ら学習する)  |
| ④ Check    | (チェック: 確かめる)  |
| ⑤ Action   | (アクション: 見直す)  |

- ①では、「自分の得意分野や苦手分野を確認します」
- ②では、「得意分野をさらに伸ばすため、また、苦手分野を克服するために学習をどのように進めるか計画を立てます」
- ③では、「実際にワークやプリントを使った復習や、問題集などを利用した発展学習に取り組めます」
- ④では、「学習した結果、できるようになったのか、まだ不十分なのかを振り返ります(単元テストや定期テストがよい機会です)」
- ⑤では、「学習方法や内容が十分でない場合に修正を加えます」

①から⑤までの流れを家庭学習に取り入れていきましょう。そのためには、家に帰ってからの生活を見直すことも必要になってきますね。

だからこそ「自己マネジメント力」を身につけ、学習も生活も充実させられるようにしましょう。

## 学校と家庭学習をつなぐ取組



### 家庭学習につなげる「放課後学習会」の実施

月2回の「ノー部活動デー」に「放課後学習会」を実施し、帰宅後の家庭学習につなげられるように工夫している。(2年目の取組)

《放課後学習会の概要》

- ・ 時間は30分間
- ・ 全校生が同じ教室で学習
- ・ 学習内容は自由
- ・ 養護教諭を含む全職員で指導にあたる(先生方による意図的な声かけ)

#### 《成果》

- 質問の質がよくなってきている。
- 分からない問題を持ち寄り、先生方や友達に聞きながら課題解決に向かう姿が見られるようになった。
- 他学年の学習内容や学習状況を知るきっかけともなり、刺激にもなる。(異学年交流のチャンスにも)



### 「ななもりノート」の活用

学校独自に作成している、生活と学習の記録ノート「ななもりノート」。

生徒の活用状況を踏まえながら、ノートの内容を毎年見直し、よりよいものとなるよう、改訂しながら活用している。

ノートには、宿題・自主学習の内容、学習した教科や時間等を記録する欄が設けられており、学習の計画立案、そして振り返りに活用できるようにしている。

先生方の助言等も充実しており、生徒たちの学習意欲を高めている。

「ななもりノート」の1ページ

		4月22日 ~ 4月28日		1日振り返って	
今日の目標		おうちで勉強する		ななもりノートに反映する	
授業	連絡内容等	宿題・自主学習	宿題・自主学習		
宿題休業日 1日の予定した時間を記入しましょう。		宿題・自主学習			
22日(月)	お出かけ	自 動 計 算	自 動 計 算	今日、朝から1日、お出かけです。お出かけの準備や、お出かけの楽しさを振り返ります。お出かけの準備や、お出かけの楽しさを振り返ります。お出かけの準備や、お出かけの楽しさを振り返ります。	
23日(火)	ピロ	自 問 題 集	自 問 題 集	今日、お出かけから帰って、お出かけの準備や、お出かけの楽しさを振り返ります。お出かけの準備や、お出かけの楽しさを振り返ります。お出かけの準備や、お出かけの楽しさを振り返ります。	
24日(水)	読書	自 読 書	自 読 書	今日、お出かけから帰って、お出かけの準備や、お出かけの楽しさを振り返ります。お出かけの準備や、お出かけの楽しさを振り返ります。お出かけの準備や、お出かけの楽しさを振り返ります。	



# きめ細かな家庭学習の点検で目的意識を高める指導

富岡町立富岡第一・第二中学校三春校

- よりよい家庭学習の習慣化を目指し、保護者と生徒が相談して目標を設定し、週末に自己評価する取組を続けている。生徒と保護者がそれぞれ家庭学習の取組を振り返ることで、マンネリ化を防ぎ、生徒の自己マネジメント力を高めている。
- 個に応じた家庭学習の課題（宿題）を与え、学級担任と教科担当で点検し、個に応じたコメントを複数の教師が記入するなど、きめ細かな指導をしている。

## よりよい家庭学習の習慣化



### 自己評価と他者評価で自己調整力向上

よりよい家庭学習をめざして

<4・5月の目標>

① 生活習慣 <例>早起きをする  
必ず寝るまで

② メディアの使用 <例>テレビの視聴時間  
20分以内にする

③ 学習習慣 <例>毎日2時間学習する  
宿題必ずやる

<取組をふり返って>

ふり返り	1週目 4月28日～5月4日	2週目 5月5日～11日	3週目 5月12日～18日	4週目 5月19日～25日	5週目 5月26日～6月1日
生徒の取組					
保護者の評価 (A～D)	項目① A B C D 項目② A B C D 項目③ A B C D	A B C D A B C D A B C D	A B C D A B C D A B C D	A B C D A B C D A B C D	A B C D A B C D A B C D
家庭からひとこと					
学校より					

※ 保護者用は月別に印刷いたします。

①生活習慣②メディアの使用③家庭学習の3つの項目ごとに親子で相談して目標を設定し、評価する。生徒、保護者、担任で振り返ることで、自己評価と他者評価の差を生徒が意識し、家庭学習に関わる自己調整のスキルが向上する。常に見直し、改善し続けることで、よりよい家庭学習の習慣が身に付いていく。



### 「ふり返りシート」による取組改善

よりよい家庭学習のために(ふり返りシート)

<この取組の目的>

(1) 家庭学習の方法を見直すことで、生徒自身の自己マネジメント力を高める。  
(2) 学校と家庭が連携して支援することにより、家庭学習の質を高める。

→ <目的が達成されること>

自分の取組を常に意識し、改善し続けることで、自己マネジメント力が身に付き、その結果、学力向上が期待できる。

年 月	目標が徐々に高く定まっているか?	①生活習慣	②メディアの使用	③学習習慣	保護者
H30	5 起床、早寝、朝に遅れしかり守る。	A 5 大まかの使用を2時間以内にする。	B 2時間以上勉強する。	B	B
	6 22:30までに就寝する。	B 3 フォンタイムを15分以内には短縮する。	C 3時間以上勉強する。	B	B
	7 毎日、朝に顔を洗う。	C 4 デバイス使用を1時間以内にする。	C 3時間以上勉強する。	C	C
	8 22:30までに就寝する。	C 5 フォンタイムを30分以内には短縮する。	C 3時間以上勉強する。	C	C
	9 毎日、朝に顔を洗う。	C 6 デバイス使用を1時間以内にする。	C 3時間以上勉強する。	C	C
	10 22:30までに就寝する。	D 7 フォンタイムを30分以内には短縮する。	C 2時間以上勉強する。	C	C
	11 毎日、朝に顔を洗う。	D 8 デバイス使用を1時間以内にする。	D 3時間以上勉強する。	BC	BC
	12 起床時間20分前になる。	D 9 フォンタイムを2時間以内には短縮する。	D 3時間以上勉強する。	BC	BC
	13 起床時間30分前になる。	B 10 デバイス使用を2時間以内にする。	D 2時間以上勉強する。	BC	BC
	14 起床時間40分前になる。	C 11 フォンタイムを30分以内には短縮する。	B 3時間以上勉強する。	B	B
	15 起床時間50分前になる。	無記号 12 デバイス使用を1時間以内にする。	CD 3時間以上勉強する。	BC	BC
R1	4 毎日、朝に顔を洗う。	C 13 テレビの視聴時間1時間以内にする。	A 毎日1時間以上勉強する。	C	C
	5 毎日、朝に顔を洗う。	※	毎日2時間以上勉強する。		
	6 起床時間までは就寝する。	※	毎日3時間以上勉強する。		

<これから心がけていきたいこと>

生徒が家庭学習の取組を改善する視点となるよう、月ごとの目標と評価を一覧にしている。家庭学習の取組を見直すことにより、生徒の自己マネジメント力を高めている。また、学校と家庭が連携して支援することにより、家庭学習の質の向上も図っている。目標も達成可能で質の高い具体的なものになっていく。

## D. 個に応じた家庭学習

英語練習

英語科

氏名

国語科

氏名



個に応じた家庭学習の課題（宿題）を与えている。各教科で自主学習シートを用意しておき、学級担任と教科担当で点検し、コメントを記入して生徒にフィードバックしている。自主学習シートは一箇所にまとめておき、家庭学習で取り組む教科を生徒が選択できるようにしている。（写真左）

## 学校と家庭の連携による家庭学習支援

(2) 本校の重点

「習慣づくり」に重点をおき、家庭と連携しながら望ましい学習習慣を身に付けていきます。

STEP1 3つの目標を立てる

お父さんと相談しながら、3つ項目についての目標を立ててください。

① 生活習慣 (例) 早寝早起き、朝食を必ずとる、手伝いをする など

② メディアの使用 (例) テレビ・ゲーム・スマホ等の使用時間規定 など

③ 家庭学習 (例) 毎日2時間学習する、決まった時間に学習する など

※ 目標は、3項目のうち1つか2つでもかまいません。

STEP2 取組をふり返る

保護者の方が、週末に3つの目標の達成状況をそれぞれ4段階(A～D)で評価してください。時間のある時にはコメント(ほめたり励ましたりする言葉)もお書きください。

STEP3 目標を見直す

取り組んでいく中で達成できた項目があれば、その項目の目標をステップアップさせてください。原則として、月ごとに目標を見直していただけますが、達成できなかった項目は目標を変更せず継続してもかまいません。

本校では、「STEP1→STEP2→STEP3」の手順をくり返して、よりよい習慣を身に付けさせたいと考えています。保護者のみなさまのご協力をお願いします。

4月に配布

具体的な3つのステップを繰り返して、生徒の家庭学習を支援していくことを、年度初めに家庭と共有する。

# 生徒の自立を促す学習支援と学習環境の整備

いわき市立小名浜第二中学校

- 家庭学習について教職員が共通理解を図り、年度当初に自主学習についての内容・方法を指導し、生徒の継続的な取組を促している。
- 身に付けさせたい内容についてプリントを用意し、生徒が自分の課題に合わせて選択して取り組めるような環境を整備し、自己マネジメント力の育成を図っている。

## 年度当初における学習の仕方の指導

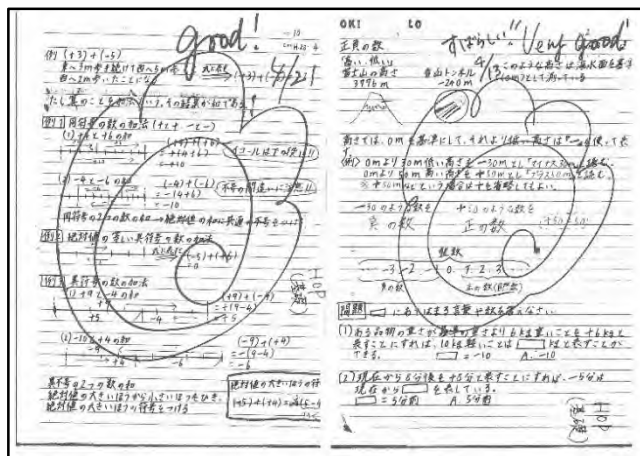
### Research 自学ノート指導

#### 第1学年 自主学習の進め方

継続は力なり。毎日1ページ以上の自主学習を行いましょう。ただ、「何をやらしたいのかわからないなあ。」「どんなふうにもノートにやるのかな。」といった思いもあると思います。ここにいくつか例を挙げますので、参考にしてください。しかし、これに限ったことではありません。自分が自主学習を継続していく中で、自分なりのやり方や方法が見つかるかもしれません。どんどん工夫を凝らして進めてみてください。

**HOP (基礎)** ... ○暗記が基本となるもの  
○授業の復習 (ノートのまとめ直しなど)  
例えば...漢字の読み書きの練習、語句の意味調べ、教科書の音読  
国語文法の学習、教科書の音読、掛け算九九、分数の計算  
数学公式を覚える、英語構文の暗記、英単語の意味調べ、  
英語文法の学習、英語構文の暗記、理科の基本事項  
理科や社会の重要語句を覚える、  
歴史の年号や事柄を覚える、  
地名や地方名とその特徴を覚える などなど

**STEP (定着)** ... ○暗記したものを確認する学習  
○授業で学習したものの定着を確認する学習  
例えば...授業のワークシートをもう一度やり直してみる  
ワークや問題集の問題に取り組み  
定期テストや単元テストの反答 (やり直し)

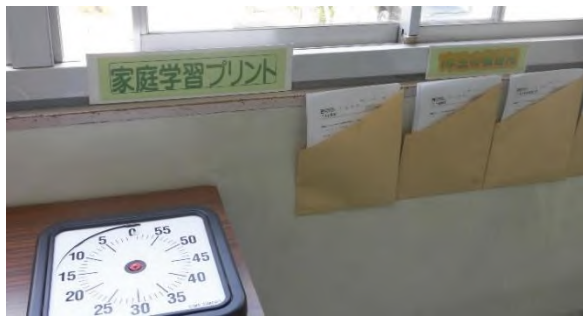


年度当初に自主学習の内容や方法、進め方について指導を行っている。

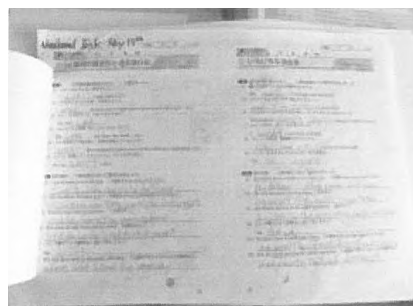
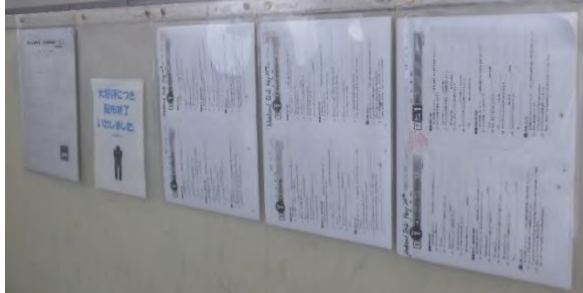
先輩の自学ノートを掲示し、実際に手に取ってノートづくりの手本としている。

## 生徒が自主的に家庭学習に取り組むための環境の整備

### D. 家庭学習プリント



生徒の取組の足跡が残るように、頑張りカードやポイントカード等に記録し、頑張りを励ましている。



授業で使用した適用問題や、取り組んでほしい発展問題等を廊下に置いている。生徒は自由にとることができ、家庭学習等で活用している。

問題用紙と答えを一緒に閉じさせ、復習にも活用している。